

令和6年度 第6回教育委員会 議事録

会議次第

- 日 時：令和6年9月2日（月）15時00分
- 場 所：東彼杵町総合会館 教育センター 小会議室
- 出席者：（教育委員）山口直登 （教育委員）橋本茂子
 （教育委員）川原 悟 （教育委員）中里知子
 （教 育 長）粒崎秀人 （教育次長）岡田半二郎 （総務係長）三根幸博
- 欠席者： 一
- 教育長挨拶
- 議題
 - （1）議事録の承認について

 - （2）報告事項
 - ① 8月行政報告
 - ② 9月行事予定

 - （3）意見交換
 - 令和6年度学校教育重点施策の進捗状況について

 - （4）その他
 - ① 教育委員会学校訪問について

 - ② 中学校体育大会及び小学校運動会

(3) 意見交換

令和6年度学校教育重点施策の進捗状況について

教育次長

令和6年度学校教育重点施策の進捗状況について、資料をもとに意見交換を行い、またその中でも不登校対策を中心に協議を行っていきたい。

先に、教育長から資料により令和6年度学校教育重点施策の進捗状況の説明を受ける。

教育長

学校教育政策の重点の取組状況に係る学校の自己評価内容を参考に、特に「7. 子どもが安心して楽しく学べる魅力ある学校づくり」を主題に不登校対策として協議を進めたい。

先ず児童生徒指導関係で子供の主体的な発達を尊重し支援する働きかけの推進と教師との信頼関係づくり、2番目に安心して活躍できる「居場所づくり」と「絆づくり」の校内支援体制、3番目に自己有用感が育たないと自己肯定感が育たないので、人の役に立ったとか、感謝されたとか、認められたとか、その様なことを高める場面を設定する。また子どもの心や体調の変化の早期把握で1人1台タブレットを活用した子どもたちの体調、心の不調のチェックアンケート。不登校不適應児童生徒の居場所作りと学びの支援として自立適応支援員との連携による教育センター内別室適応教室と校内教育支援センターなどを進めている。

取組の詳細は、指導主事、自立適応支援員から説明を受ける。

指導主事

資料をもとに、「本町の不登校の現状」について説明を行う。

自立適応支援員

資料をもとに、「自立・適応支援事業を利用している児童・生徒との関わり」について説明を行う。

【意見交換】

※意見交換の内容については、個人特定の情報等含む内容があるため記載を省略する。

なお、意見交換の中で提議された課題等の要約は次のとおり。

- ①不登校・不適應な子どもが増える傾向に対応する校外校内での支援体制やシステム構築。
- ②現校内での余裕（空き）教室が無く、校内教育支援センターの設置及び拡充などの環境整備。
- ③中学校卒業後（高校進学）の子どもたちの状況の把握。
- ④未成年、成人者の引きこもり問題が社会的な課題となっている。